

編集委員会

顧問	大島 良雄	河邨 文一郎	五味 重春	津山 直一	委員	明石 謙	伊藤 利之*	上田 敏	大井 淑雄	橋本 正洋*	緒方 甫	千田 富義*	千野 直一	永田 雅章*	中村 耕三	蜂須賀 研二*	万歳 登茂子*	横山 巖	(* 編集幹事)	同人	安藤 徳彦	伊勢 眞樹	一番ヶ瀬 康子	江口 壽榮夫	大川 弥生	奥川 幸子	落合 芙美子	加倉井 周一	河野 康徳	児玉 和夫	近藤 徹志	澤村 誠吉	高松 鶴仁	竹内 孝秀	武智 秀夫	田澤 英二	田中 理	田中 信行	椿原 彰夫	寺山 久美子	土肥 信一	中村 隆一	奈良 勲	二木 立雄	野島 元	野村 泰弘	初山 道隆	福田 克徳	藤田 良範	本田 哲三	松井 亮輔	丸山 一郎	水落 和也	村上 恵一	村田 信男	里宇 明元	渡辺 英夫	綿森 淑子	(五十音順)
----	-------	--------	-------	-------	----	------	--------	------	-------	--------	------	--------	-------	--------	-------	---------	---------	------	----------	----	-------	-------	---------	--------	-------	-------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	--------	-------	-------	------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------

編集後記

・その後色々な事件が続発し影が薄らいだ感もありますが、阪神・淡路大震災後1年経ち、この機にリハビリテーションの立場から実際に震災に立ち向かわれた3人の先生方を交えて、改めて当時を振り返っていただきました。日頃の地域活動が大事なことや、老人・障害者のいない社会は不自然だ、という話には納得です。天災とはいえ死者の半数以上が60歳以上の高齢者だった、女性が多かった、ことなど「弱者」に被害が集中したことは人為的、社会的災害と言え、これまでの社会の有り様を考えさせるものです。旧来の家族や地域共同体の崩壊が言われて随分時間が経ち、その後、高度経済成長社会、大衆社会、その他色々命名される社会的経験を経てきても、なかなかそれに代わる新しい市民共同体はできてこないようで、老いも若きも狭い私的な空間にちんまりと納まってしまっているような気がします。しかし、震災時、100万人を超えるボランティアが行動したことは事実ですし、その辺に、新しい、温かいコミュニティ形成の芽があるようにも思います。ところで、今回から誌面をマイナーチェンジ、内容も一層充実です。今年も頑張りまーす。(K)

総合リハビリテーション (第24巻 第1号)

1996年1月10日発行 (毎月1回10日発行)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

1部定価 2,009円 (本体1,950円)

(配送料92円)

〔1996年、年ぎめ予約購読料 23,400円〕
(本体22,718円、送料弊社負担)

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5704

(担当：鹿嶋・富永)

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 東京 00170-9-96693番

印刷所 三報社印刷㈱：電話 (03) 3637-0005

広告申込所 ㈱東広社：電話 (03) 3409-8803

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 1996, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載された著作物の複写・転載およびデータベースへの取り込みに関する許諾権は医学書院が保有しています。

〔日本複写権センター委託出版物・特別扱い〕

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き、禁じられています。本誌は日本複写権センターの特別委託出版物です。複写される場合は、そのつど事前に日本複写権センター (03-3401-2382) の許諾を得てください。